

事業番号	09 03 01	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要対応穀物生産強化事業				担当課	部局	農政部
						課・室	農業技術課
総合5か年計画	プロジェクト	1-3 夢に挑戦する農業			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○品質の高い米を生産するとともに、転作作物（麦・大豆・そば）の導入促進を図り効率的な経営体の育成を目指す。 ○米の県オリジナル品種の導入を促進するとともに、食味・品質に優れた特徴のある米の作付け拡大を目指す。 ○麦・大豆・そばでは、加工適性が高い品種の導入を促進し、加工業者等から求められる生産を目指す。 ○成果目標：実需者ニーズの高い県オリジナル品種（米、麦、大豆、そば）の作付面積（H23：444ha→H29：2,210ha）
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ○農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、国の施策を活用した的確な対応が必要となっている。 ○本県においては、適期作業や基本技術の励行等による品質向上・良食味対策に努めた結果、農産物検査法に基づく1等米比率（水稲うるち・玄米）は全国トップクラスを維持している。しかし、近年は高温登熟や雑草イネ発生による品質低下が発生しており、対策が必要となっている。 ○麦、大豆、そばの生産振興は、食料自給率の向上を図る上で非常に重要であり、実需者ニーズに対応した麦・大豆・そばの産地を育成し、作付拡大を図るとともに、高品質な麦・大豆・そばの安定生産を確立する必要がある。

県が関与する理由	県関与の必要性あり 【左記の説明、根拠法令等】 長野県の米穀類生産を、一層実需者ニーズに対応したものに誘導するため、県の関与が必要である。 県民との協働による実施：実施は困難
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	○実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積 1,680ha (平成29年度の2,210haに向け、H27年度の目標面積を水稲新品種:900ha、麦・大豆・そば新品種:780haに設定)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		H28
			(当初)	(決算)	(当初)
需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	乾燥調製施設等の整備(JA、農業法人):3カ所		977,425	
水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興	直接	(1) 水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催 (2) 雑草イネ防除対策技術実証事業 防除技術確立現地実証圃4カ所設置による防除技術普及、発生地域拡大防止対策検討会の開催 2回、現地巡回 1回		2,948	
畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	・経営所得安定対策を活用した畑作麦・大豆作付推進研修会の開催 1回、実証圃4カ所の設置		188	
土壌有害物質のリスク管理交付金事業				668	
農産物検査対策事業				880	
	合計	625,804	107,623	982,109	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	7,335	0	115,132	0
	当初予算	7,240	557,371	625,804	982,109
	補正予算	41,367	-229,354	-581,723	
	合計(A)	55,942	328,017	159,213	982,109
	一般財源	3,295	3,266	2,977	2,948
	県債				
	国庫支出金	48,990	324,742	156,236	978,281
	その他	3,657	9	0	880
	決算額(B)	52,151	209,415	107,623	
概算人件費	職員数(人)	2.35	2.35	2.35	2.35
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	19,406	19,406	19,449	19,449
		71,557	347,423	178,662	1,001,558

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	1,349ha	1,680ha	1,790ha	達成	2,000ha

目標に対する成果の状況	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の内、水稲については「水稲「風さやか」ブランド確立推進事業」によるPR対策等により913haの作付となった。そばについては「信州ひすいそば」振興協議会による推進活動により、栽培面積が147haに拡大した。小麦についてはパン・中華麺用品種であるゆめかおり、ハナマンテンの作付が511haと増加した。大豆では豆腐加工適性の優れるすずほまれの作付が増加したことから、納豆用小粒品種のすずろまんと合わせ219haの作付となり、目標を超え総計1,790haの作付を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 第2期長野県食と農業農村振興計画の成果目標達成に向け、水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」については、協議会体制による推進を核とし、主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業による栽培技術及びPR対策等により生産拡大を図る。また麦・大豆については実需者ニーズを踏まえつつ、生産振興研修会等において生産拡大を図る。
--------------------	---